



生駒市立鹿ノ台小学校

鹿小だより



鹿小ホームページ

令和 8年 6月 16日

第 6 号

5月に苗を植え、種を蒔いた植物が少しずつ大きく生長してきました。1年生はアサガオ（種）、2年生は野菜（苗）、3年生はマリーゴールドなどの花（種）を青い植木鉢で育てています。毎朝、登校後、たくさん子ども達が、ペットボトルを手に、水やり飛び出していきます。1年生は、靴をはいてすぐの場所ですが、2・3年生は、中庭まで校舎をぐるっと回って行かなければなりません。朝休みに運動場で遊びたいし、水やりもしなくちゃいけないし…。ドッジボールを小脇に抱え、ペットボトルを手に走っていく子の姿も見かけました。



台風6号接近に備え職員室前廊下に一時避難させた2年生の植木鉢

ある朝、東門側に立って、中庭へ向かう子どもたちの様子を見てみると、「今日は、なんでここに立ってるの？」と2年生の子が話しかけてくれました。

「うーん、今日は、ここに立ちたい気分かなあ」とあいまいに答えと、

「いろんな子どもたちの姿を見たいんやね」と納得してくれました。

そうだ、そうだ、その通りですね。子どもたちのいろいろな姿に出会えるのは幸せなことです。



通級指導教室 Be・e・ik って何をするところ？

学校での学習や生活で、がんばっているのに特性のためにうまくいかず困っている子どもに、本来持っている力を最大限発揮できるよう指導したり寄り添ったりできる場として、本校に通級指導教室（Be・e・ik）が開設されて4年目を迎えました。

先日、通級指導担当が通級指導の理解を深めるために6年生を対象に1時間の授業を行いました。毎年、内容を工夫して子どもたちに伝えているもので、今年度は全学年に実施していきます。



授業は、通級とはどういう場所なのか、どんな内容の学習をしているのかを説明するところから始まり、実際に体験する活動を通して理解を深めるように構成されていました。

〈子どもたちの感想〉

- ▶ ビーイクは、ものすごくその人一人一人に寄り添っているんだな。
- ▶ 自分に合った方法を見つけることにより、物事がスムーズに進められるし、その方法は人により様々であると分かった。
- ▶ ビーイクでは、クラスのように集団で行動するのとは違って、一人一人に目を向けて得意なことを



体験活動「協力まちがいさがし」

のばしたり、苦手を克服したりしようとするから、とても強くて安心な土台ができるなと思った。

・ビ〜イクでは、答えが合っているかではなく、間違えて次どうするのか、どう工夫するのか等を考えることが大切と聞いて、確かにそうだなと思った。

おちついてからつたえよう I (私) メッセージ

子どもどうしのもめごとの中には、「気持ちの受け取り方のずれ」から起こるものが少なくありません。うまく言葉にできなかつたり、相手を責めるような言い方になってしまったり、同じ出来事でも受け取り方に違い（認知のずれ）が生じたりすることが、その背景にあると考えられます。

これまでも子どもたちには、

「言葉は選べる。もっと別の言葉はないかな？」

「気持ちをわかるのは難しいけれど、わかろうとしてみよう（想像してみよう）」

と、声をかけてきました。6月の生活目標は「相手の気持ちを考えよう」です。

現在、保健室前にとってもすてきな掲示物が掲示されているので、ご紹介します。



「おちついてからつたえよう I (私は…)メッセージ」

私（I）の気持ちを主語にして話すこと

自分の気持ちを、うまく相手に伝えることが

できるので、けんかにもなりにくいし、

相手にもどうしたらいいのか、わかってもらいやすいです

ぜひ、つかってみてね

「あなた」を主語にすると、相手をせめるような言い方になってしまいがち



I (私) メッセージ
自分の気持ちをやわらく伝えられる

この掲示物を見て、私たちはつい、「あなた」を主語にして思いを伝えがちなのかかもしれないと思い至り、自分の言葉を振り返るよいきっかけとなりました。

「やめろ」「手伝えよ」「はやくして」などの言葉（上段）に対応した、「I メッセージ」での伝え方の例が下段に紹介されています。

